



山形県立村山産業高等学校

マイコレザー研究班

山形県村山市楯岡北町 1 - 3 - 1

環境にやさしい！地域に眠る菌資源
マイコレザー



培養したマイコレザー

近年、石油由来の農業資材の価格が高くなるとともに、SDGsなど環境負荷を最小限に抑えた製品への移行が求められている。しかし、石油由来の農業資材は、農作物などの生産に必要不可欠である。これら農業分野でのプラスチック資材の廃棄物は、国内で年間約10万トンである。そこで、私たちは、キノコの菌糸を由来とするマイコレザーに注目した。マイコレザーは、キノコの菌糸を短期間で成長させ、レザー生地のように用いることができる。また、廃棄の際は、土中で分解され、環境負荷もない。そこで私たちは、校内の演習林で発見した硬質性のキノコであるサルノコシカケをプラスチック代替品として活用することを目指して、研究を行った。